

案件概要書

2012年3月28日

国際協力機構東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課

1. 案件名（国名）

国名：タジキスタン共和国

案件名：ハترون州及び共和国直轄地域道路維持管理機材整備計画

(The Project for Improvement of Equipment for Road Maintenance in Khatlon Region and Districts of Republican Subordination)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における道路セクターの開発実績（現状）と課題

タジキスタン共和国（以下「タジキスタン国」）は、14.3万km²の国土に約710万人の人口を有し、中央アジアのパミール高原に位置する山岳内陸国である。国内の物流だけでなく周辺国との交易についても道路輸送に依存しており、同国内の幹線道路はタジキスタン国経済の主要なインフラとなっている。これら道路網の多くは旧ソ連時代に建設されたが、1991年の独立後の内戦及び経年による損傷・老朽化が進行しており、近年、ADB、中国、日本をはじめとする援助により整備が進む一方、補修と維持管理に必要な機材・人材・技術の確保が今後の課題となっている。国土の90%以上が山岳地帯であるタジキスタン国では、雪崩、土石流、落石等の自然災害により通行不能となる道路も多く、こうした交通網の遮断および整備不足による輸送時間の増加は経済発展の大きな阻害要因となっているため、道路網を適切に整備し、維持・管理していく必要がある。

(2) 当該国における道路セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

本事業が対象とするクルガンチュベ～ニジノピヤンジ間及びドウシャンベ近郊の幹線道路は、タジキスタン国とアフガニスタンの首都を結び、さらにはパキスタンのカラチ港に至る国際幹線道路11号線（アジアハイウェイ7号線）の一部を成すものである。また、「2025年までのタジキスタン共和国運輸セクター開発計画」においても重要路線として位置付けられている。

(3) 道路セクターに対する我が国及びJICAの援助方針と実績

我が国の「対タジキスタン国別援助計画」（平成21年4月）では、運輸・交通は重点分野の1つとされている。また「中央アジア+日本」対話の行動計画（平成18年6月）の中では、タジキスタン国南北間の輸送ルートの整備を支援することに言及している。我が国は無償資金協力により「ドゥスティ～ニジノピヤンジ間道路整備計画（Ⅰ期及びⅡ期）」（延長23.7km完工済、平成18年度及び平成20年度）、「クルガンチュベ～ドゥスティ間道路改修計画」（第Ⅰ期：延長42.0km完工済、第Ⅱ期：延長17.9km実施中、平成20～23年度）を実施しており、本事業の対象地域には、これらの計画で整備した区間が含まれる。

(4) 他の援助機関の対応

2009年、EBRD、EU及びオランダの協調融資により、運輸省の管轄する全国61か所の道路維持管理事務所に約100台の建設機械（ショベルカー等）が配置されている。

3. 事業概要

(1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

ドウシャンベ～クルガンチュベ～ニジノピヤンジ間及びドウシャンベ近郊の幹線道路における道路維持管理機材の整備。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ハトロン州およびドウシャンベ近郊

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【機材】道路維持管理機材（アスファルトフィニッシャー、グレーダー、エクスカベーター（ショベルカー）、ダンプトラック、ロードローラー、アスファルトプラント等）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：調査により確認する。

3) 調達・施工方法：調査により確認する。

(4) 事業実施体制

タジキスタン国運輸省

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 C

② カテゴリ分類の根拠 本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010 年 4 月公布)」上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進：調査により確認する。

(6) 他スキーム、ドナー等との連携：平成 23 年度要請案件である技術協力プロジェクト「道路維持管理能力向上プロジェクト」との連携が想定されている。

(7) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

ブータン無償資金協力「道路建設機材整備拡充計画」では、技術協力やボランティア派遣など他のスキームと組み合わせた機材支援を実施したことにより、無償資金協力の効果の向上が見られた。

(2) 本事業への教訓

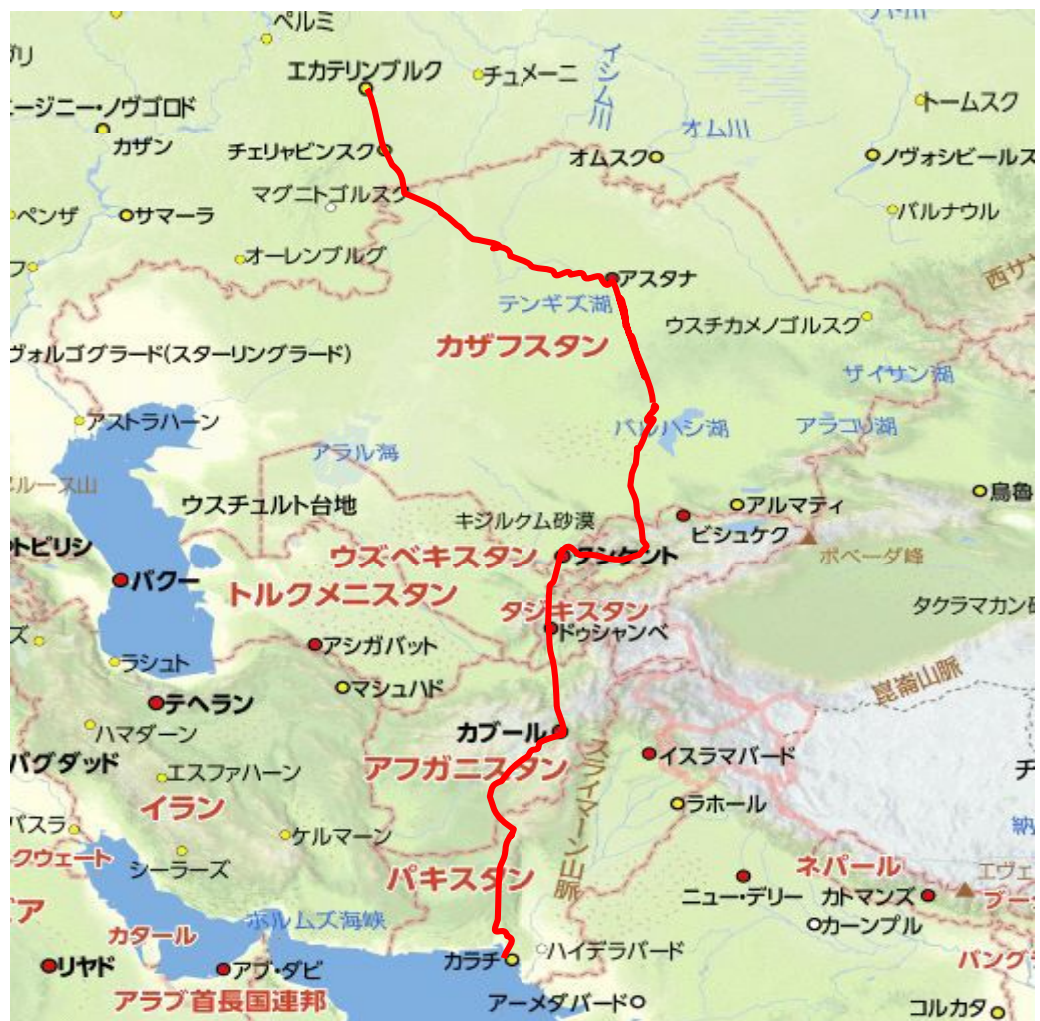
本事業においては、技術協力プロジェクト「道路維持管理能力向上プロジェクト」との連携が予定されている。特にタジキスタンでは、道路損傷の要因の一つとして過積載の問題があり、技術協力プロジェクトにおいて過積載取締りを所掌とする中央政府と連携することで、機材整備と技術協力プロジェクトによる更なる相乗効果が期待出来る。

以 上

〔別添資料〕



【プロジェクトサイト/対象地域】



【アジアハイウェイ7号線（カラチ～カブール～ドゥシャンベ～タシケント～オシュ～アスタナ～エカテリンブルク）】